

3 比爪—奥州藤原氏第二の拠点— ① 中核遺跡 <五郎沼(2)>

この五郎沼は、南東側に堤を築くことによって人為的に造成された沼(池)です。大正14年の冬に、五郎沼の浚渫が行われた際に、完形に近い12世紀のかわらけが大量に沼底から出土したことなどから、造成年代は、12世紀奥州藤原氏の時代と推測され、比爪館の造成時に居館の構成要素として同時に造成された「池」と位置づけられます。また、中島は、もともとの自然地形を利用した可能性もありますが、人為的に手を加え造成されたものと推測され、何らかの施設が設置されていたと推測されます。(次号に続く)

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪—もう一つの平泉—』パンフレット9頁より —

《《《 12～1月行事予定のお知らせ 》》》

<p>12月 6日 (日曜日)</p>	<p>第15回定期講演会</p>	<p>時間 午後1時30分から午後3時30分まで (受付開始時刻：午後1時) 会場 日詰駅前 紫波町赤石公民館 講師 盛岡市都南歴史民俗資料館長 玉川英喜 氏 演題 古代から中世にかけての比爪館と北東北 参加料 500円(会員は200円)当日の受付で 参加申込み 11月30日までに、FAXで赤石公民館 019-676-3999へ</p> <p>※ 講演終了後、参加の皆さんで「玉川先生を囲む懇親会(会費1,500円)」を計画しています。受講者であれば、どなたでも出席できます。参加を希望される方は、当日の受付でお申込みください。</p>
<p>1月20日 (水曜日)</p>	<p>第68回月例懇話会</p>	<p>午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：金濱興一 テーマ：下河原訓導頌徳碑 3 発表者：平井和夫 テーマ：古代蓮の開花</p>

■ 岩手県立博物館特別展のお知らせ

平成28年1月14日(木)～2月28日(日) 「発掘された日本列島2015」

全国では毎年約8,000件近い発掘調査が行われています。近年特に注目された19遺跡412点についてご紹介します。

平成28年1月14日(木)～3月6日(日)

「海に生きた歴史～復興調査が語る一万年の海との共生～」
復興発掘調査の状況と成果をもとに、海に生きた岩手県沿岸部の先人の歴史を紹介します。

◇ 関連 県博日曜講座

1月24日(日) 13:30～15:00 「海に生きた歴史①」 八木勝枝(県立博物館学芸員)

2月14日(日) 13:30～15:00 「海に生きた歴史②」 羽柴直人(県立博物館学芸員)

2月28日(日) 13:30～15:00 「東日本大震災と埋蔵文化財」

水ノ江和同(文化庁文化財調査官)

◎ 事務局からお願い

12月6日の玉川さんの講演会は初めての方にも分かり易い内容です。同封のパンフレットを会員以外の方へお知り合いの方に差し上げて一緒に参加するよう、お勧め願います。

☀ ☀ ☀ 比爪館跡の発掘調査 No.25 ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀

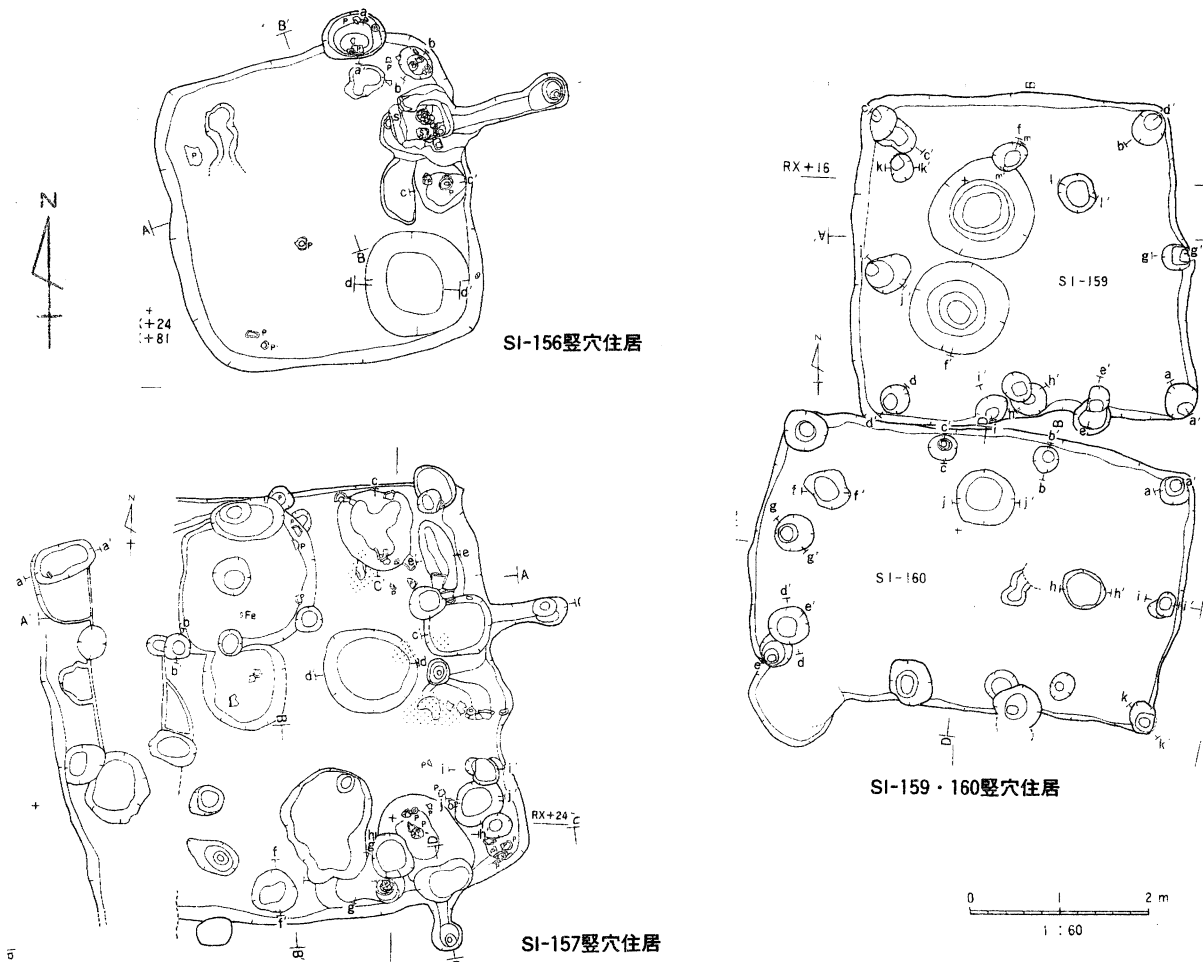
【第12・16・18次発掘調査(5)】 比爪館 第11～18次発掘調査報告書—赤石小学校施設工事関連—
 <紫波町教育委員会(平成14年3月31日発行)>から

検出遺構 5 竪穴住居跡 (34～35頁)

44棟検出している。SI-156とSI-157は、第11次調査区南東と12次調査区北西にまたがって検出し、2カ年で調査している。SI-159とSI-160は第12次調査の際に検出した。この2棟は接しているが、新旧関係の把握はできかねた。SI-158は旧校舎基礎跡の攪乱に完全に壊されていた遺構で、残存部を探すため推定的に付した番号である。赤焼・土師器が散布していた。

【出土遺物】土師器・赤焼きの坏・甕、須恵器小片、かわらけ小片。

※ 竪穴にともなう柱穴は、SI-157で7基、SI-159で7基、SI-160で10基、計24基が確認された。また、SI-160の南西コーナー張り出し部について、「埋土に、多量の硬軟焼土ブロックが混在している。……不明施設といわざるを得ない。」の記述がある。



会 員 投 稿

10月28日から1泊2日の行程で行われた赤石地区まちづくり協議会の研修旅行に参加しました。当初の日程になかった安藤水軍の本拠地といわれる十三湊の福島城跡に立ち寄り、内郭の模擬城門で記念写真を撮り当時を体感できたことは私にとって望外の喜びでした。

宿は鱒ヶ沢の「水軍の宿」、期待どおりの雰囲気漂う素朴な宿でした。宿に頼んで貰った安東水軍のパフレットには、東日流外三群誌から引用したと思われる勇ましい言葉が躍っていました。帰ってすぐインターネットで観光ガイドなどを覗いてみると「突然押し寄せた大津波により一夜にして壊滅」「奥州藤原氏、十三氏、安藤氏と歴代の豪族たちが支配」「樺太や蝦夷地(北海道)、朝鮮半島等との交易」「平安の時代は平泉に次ぐみちのく第2位の都市」などの言葉が並んでいました。

北方交易の拠点比爪にとって、海路の起点と考えられる外が浜とともに、平泉時代の十三湊についてももっと知りたい。どなたか発表してくれると嬉しいのだが、と思うこの頃です。